

新型コロナウイルス感染症対策に伴うICT等を活用した児童・生徒の学びの保障について

これまでの主な取り組み

- 学習動画をYouTube、テレビにて配信
・対象：小学校、中学校（4/20～）、高等学校（5/18～）
- 学習動画サイトの活用（中学校）
・NPO法人の学習動画サイト「eboard」を活用（映像授業とデジタル問題集）
- 双方向型オンライン学習の試行実施
・小学校6校、中学校6校（7～8月）
- オンライン学習にかかる教員研修
・第1回（6月）、第2回（8月）
- 学習者用端末の1人1台環境の整備（5月補正予算）
・令和5年度予定を令和2年度に前倒し（11月～3月に順次整備）
- 緊急時における家庭でのオンライン学習環境の整備（5月補正予算）
・全小中学校にWebカメラ、マイクスピーカー等の通信装置を整備（8月～）
・自宅にインターネット環境が整っていない家庭に対して、家庭学習用にモバイルルータを貸与し、通信使用料を負担（9月～）



学習動画（中学1年英語）



双方向通信の画面イメージ



学習者用端末の整備

全小中学校におけるオンライン学習の本格実施に向けて

成果

ホワイトボード
機能で協働学習



黒板や電子黒板を使用



自作教材を画面で共有



< 参加した児童生徒の声 >

リラックスして、そして集中して学習に取り組めた。

もしまた、コロナウイルス感染症が拡大した時でも、オンラインで学習ができると思ったらとても安心。



わからないことは直接質問できるし、学習動画のように一方向でなく、先生と直接やり取りができるのがうれしい。

課題

端末・WEBカメラ等機器の不足
教員のスキル・ノウハウの不足

オンライン学習実施に向けた取り組みスケジュール

9月以降、9月末めど	小6・中3優先でオンライン学習環境を整備、全学年で接続テストを実施
10月末めど	全校でオンライン学習を試行実施（小6・中3を対象） インターネット環境のない家庭については、モバイルルータを貸与
11月以降	第3回教員研修（試行実施を踏まえたブラッシュアップ）
	1人1台の学習者用端末の整備等にあわせて、順次オンライン学習を試行実施（小6・中3以外）



令和2年度末までに、すべての小中学校でオンライン学習環境を実現

1人1台端末を活用した新しい学びのスタイル

「いつでも」「どこでも」「だれでも」主体的に学べる環境
～多様な学習の機会と場の提供～

個に応じた学習



デジタルドリルによる学習
一人一人の習熟の程度に応じた学習

調べ学習



インターネットを用いた情報収集
写真や動画による記録

思考を深める学習



動画コンテンツ等
を活用した学習

学習したことを表現



学習のまとめや
作品の制作



学習への興味・関心の向上
分かりやすい授業の実現
個に応じた指導の充実

家庭における学習



学習者用端末を
持ち帰って学習

「主体的・対話的で深い学び」の実現

1人1台端末の効果的な活用（個別最適化された学びの実現）

学習履歴を可視化。校務PCで情報共有し、つまずきの早期発見と、個に応じたきめ細やかな指導を実践。

デジタルドリルによる学習履歴の蓄積

学習履歴（スタディログ）の蓄積
単元・領域ごとの分析・個別指導

《ダッシュボード》

The dashboard shows a student's profile (15番 滝川 太郎15) and various data points. Three sections are highlighted with red boxes:

- 学習の状況** (Learning Status): Shows '共有TOPIC' (Shared Topics) and '学習のようす' (Learning Status) with text about learning progress and dates.
- 学習履歴** (Learning History): Shows '学習データ' (Learning Data) as a bar chart and '出欠/健康観察/心の天気' (Attendance/Health Observation/Mental Weather) as a calendar.
- 成績** (Results): Shows '保健室利用' (Health Room Usage) as a table and '1学期' (1st Semester) as a table of scores.

いつでも、どこでも、だれでも

学習系クラウドサービス

デジタルドリル



【家庭】



【学校】

デジタルドリルの活用

Two scenarios are shown:

- 病気療養児** (Sick child in care): A student is shown using a tablet at home.
- 不登校児童生徒** (Non-attending students): A student in a wheelchair is shown using a tablet at school.

ICTを効果的に活用した学習
(協働的な学び)



つまずきの早期発見

個に応じたきめ細やかな指導

デジタルドリル教材活用実証について

趣 旨

経済産業省「先端的教育用ソフトウェア導入実証事業」の事業目的を踏まえ、個別最適化された学びを推進するためデジタルドリル教材の活用実証を行うとともに、令和3年度のデジタルドリル教材導入に向けて、個別最適化された学びについて状況把握と課題の整理を行う。

本市の実証スケジュール

実証期間 令和2年8月31日～令和2年12月25日



本市で実証検証するデジタルドリル教材について

	教材名	会社	教科	対象学年	実証校数
1	やるKey	凸版印刷(株)	算数	小学3年生～6年生	小学校22校 (内：学力向上推進校12校)
	EnglishCentral	(株)EnglishCentral	英語		
2	すららドリル	(株)すららネット	国語・社会・算数・理科	小学1年生～6年生	小学校35校 (内：学力向上推進校21校)
			国語・社会・数学・理科・英語	中学1年生～3年生	中学校17校 (内：学力向上推進校8校)
3	Qubena	(株)COMPASS	算数	小学1年生～6年生	小学校13校 (内：学力向上推進校5校)
			数学	中学1年生～3年生	中学校6校 (内：学力向上推進校6校)

学力向上推進校：教員の指導力向上を図るため、「学力向上指導実践チーム」が授業改善に向け、訪問指導を行い、指導資料等を活用しながら、実践指導を行う「学力向上推進事業」の対象校。これまで2年間小中のべ80校でモデル事業として実施しており、今年度より240校に拡充している。

1人1台端末の効果的な活用（いじめ・不登校等の未然防止・早期発見）

児童生徒の気持ちや生活指導の状況を可視化。
いじめ・不登校などの未然防止・早期発見・迅速な対応を実現。

〈ダッシュボード〉



生活指導の状況・出欠状況・保健室の来室状況等を可視化

気がかり

気付き



保健室
利用

生活
指導

出欠簿/
健康観察



情報共有の効率化
(教員の負担軽減)

スクリーニング

児童生徒1人1台端末を活用



児童生徒の気持ちや心の動きを入力



児童生徒への的確な声掛け

問題の未然防止・早期発見

適切な相談対応